

R 元年度 特別支援教育の充実（特別支援教育課主要事業）

特別支援教育課

1 事業目的 ～学びの力で未来を拓き、夢を実現する人づくり～

子ども、保護者のニーズに応える特別支援学校への改革

- ➡ ○一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす学校の実現
○地域社会、企業等とつながり、インクルーシブな社会をリードする学校の実現

2 事業内容

特別支援学校の教育の充実

(1) 質の高い教育の提供

新 専門性向上事業

障がいの状態に合わせた教育課程の編成および、各校の標準となるカリキュラムポリシーを作成

拡 特別支援学校自立活動担当教諭の増員

定数乖離を解消するとともに、各校に自立活動チームを編成し、個別の指導計画に基づいた質の高い自立活動を実施（+25人）

新 特別支援学校学習環境改善

必要な図書や身体機能向上用の教材等を購入し、学習環境の整備を実施

拡 遠隔教育推進事業

遠隔地で学ぶ児童生徒に対し、共に学び合える遠隔授業実施体系を確立

(2) 施設整備

・ 特別支援教育連携協議会

特別支援学校の施設整備の基本方針を策定

新 松本・若槻養護学校基本方針検討

老朽化や環境改善のため早急な対応が必要な松本養護・若槻養護について施設整備の基本方針を策定（～H32）

インクルーシブな社会の実現

(1) 社会自立を可能にする協働の学び

拡 就労支援総合推進事業

技能検定の実施（清掃部門の継続、喫茶部門の拡充、食品加工部門を新設）、就労コーディネーター（5人）による雇用の場の創出

拡 外部専門家活用事業

医療関係者による職員研修、芸術家やスポーツ選手を活用した授業を実施

(2) 小中学校とシームレスな関係を構築

拡 LD 等通級指導教室の増設

新たに 11 教室を増設（小学校：+9 教室、中学校：+2 教室）

新 低学年での読み指導プログラム推進

全ての学習の基礎となる「読み」の指導充実を図り、困難を抱える児童も通常学級で学ぶインクルーシブな授業づくりを推進（モデル校 6 校）

新 副学籍コーディネーター配置事業

特別支援学校の児童生徒が、副学籍制度を利用し地域の小中学校と交流するため、活動計画作成や連絡調整、引率等を行う副学籍コーディネーターを 2 名配置